

【優秀賞】エッセイ部門

ファッションの力で世界を虹色に包み込む。

長野県長野西高等学校
3年 眞田 ハンナ

私はファッションデザイナーになり、服飾産業の力で世界の多くの人にHAPPYな気持ちを届ける。

今年の夏、ボランティアでアフリカのガーナを訪ね、田舎の村で一人の女性と出逢った。彼女は十四歳で結婚をし、現在 22 歳で 5 人の母親をしている。彼女は家が貧しかったがために、中学を中退し、十分な教育を受けられなかった。現在は仕事をしていない。ガーナの田舎では女性が働く場所はほとんどなく、まして低学歴の彼女が働くことは難しい。仕事に就けたとしてもその収入は少なく、5 人の子どもを学校に行かせ、中学を卒業させることはとてもできないと彼女は語った。そんな彼女のかつての夢は美容師となり、自身のお店を持つことだったのだそうだ。だが今は、現実的ではないと諦めている。

私は今回ガーナで一人の女性と出逢ったが、途上国の田舎ではまだまだ、彼女のように早い結婚、出産を虐げられ、低収入の中、育児をするが為に、またその子どもも教育の機会を得ることができないという悪循環が続いている。私はこの悪循環を変えたい。私は今後の人生において、この悪循環を変える取り組みのことを「ハンナの黄金サイクル」と呼ぶ。これは次のような仕組みである。まず、自身のブランド「ハンナ」を立ち上げ、その工場を途上国の田舎に置き、女性が育児をしながら安定した賃金で働くことのできる環境を作る。女性が安定した収入を得ることで家庭の収入が増え、子どもは教育を受けることができ、女性も自身の夢への資金調達が可能となる。個人の教育、生活水準が上がることで途上国の国全体の水準が上がる。人は心に余裕が生まれると、より笑顔になり明るい気持ちになれる。それは争いのない平和な世界、つまり虹色に包み込まれた明るい世界につながると私は考える。

私は、ガーナでのこの女性との出逢いで今、幼い頃からの夢、ファッションデザイナーになることの夢がより具体化し、「ハンナの黄金サイクル」が始動しようとしている。高校卒業後は英語力を高めつつ、ファッションの基礎をカナダで学びたい。私の生涯の目標は「世界を虹色に包み込むこと。」いつか世界中に店舗を広げ、服を手にする人が思わず“HAPPY”と口ずさみたくなるものを産み出していきたい。それは壮大な夢への旅、まもなく出発です。いってきます！